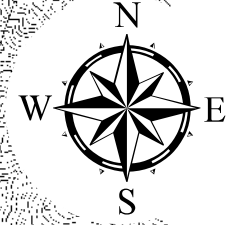


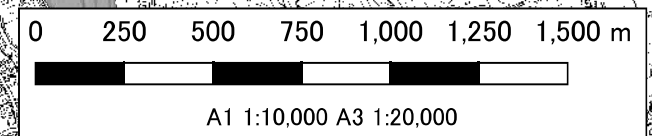
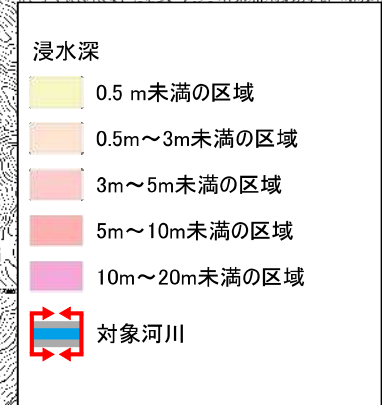
# 天竜川水系新宮川・大曾倉川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



天竜川水系新宮川・大曾倉川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

1) 説明文  
 ① この図は天竜川水系新宮川、大曾倉川の県管理区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
 ② この洪水浸水想定区域図は、指定時点の新宮川、大曾倉川の河道形状や整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により新宮川、大曾倉川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。  
 ③ なお、このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

2) 基本事項  
 ① 作成主体 長野県  
 ② 指定年月日 令和8年3月19日  
 ③ 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項  
 ④ 対象となる河川  
 天竜川水系新宮川(実施区間)  
 左岸: 駒ヶ根市中沢7077番の2地先から天竜川への合流点まで  
 右岸: 駒ヶ根市中沢7451番の2地先から天竜川への合流点まで  
 天竜川水系大曾倉川(実施区間)  
 左岸: 駒ヶ根市中沢字古道9026番の1地先から新宮川への合流点まで  
 右岸: 駒ヶ根市中沢さみ9041番地先から新宮川への合流点まで  
 ⑤ 指定の前提となる降雨 新宮川、大曾倉川流域に24時間で794mmの降雨を想定  
 ⑥ 関係市町村 駒ヶ根市  
 ⑦ その他計算条件等  
 氾濫区域を5m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。



この地図は、駒ヶ根市長の承認を得て、駒ヶ根市図10,000分の1を複製したものである。